

デジタルスペースの整備



島根県立大東高等学校



本校では、データサイエンス等の新たな学びを推進するため、パソコン教室を中心としたデジタルスペースを整備しました。授業や総合的な探究の時間では対話的・協働的な学びを深める場とし、3Dプリンター等の活用による実習や外部人材との連携を通じて創造的活動を可能にしています。また、地域や小中学生への体験活動の拠点として、学校内外をつなぐ学びのハブとなることを目的としています。



活用事例

総合的な探究の時間での利用

- (左図①)
 - ・キャラクターモデリング(TinkerCAD)
- (左図②)
 - ・CADワークショップ(レーザーカッター)

授業の利用(データサイエンス)

- (左図③④)
 - ・リコージャパン様によるVRを使ったリモートフィールド技術・360カメラを使った体験と技術解説。

外部講師の講演・講義

- (左図⑤)
 - ・島根県立大学の先生を招いて、AIの解説・活用授業の実施

部活動の利用

- (左図⑥)
 - ・360カメラを使ったフィールドワーク
 - ・教育版マイクラフトでコンテスト参加

整備している機器について



RICOH SG7200

A3対応カラーインクジェットプリンタ

CANVA等で制作したデザイン（ポスターやチラシ）などの印刷や、部活動での活動資料印刷、CADで制作した図面の印刷を行います。



SMART DIY Etcher Laser Pro

汎用レーザーカッター
レーザー方式：CO2レーザー30W
加工エリア：幅475×奥行310mm
加工素材高さ：0-35mm

探究活動において、TinkerCADを使いスタンドやパネルなどの創作物のプロトタイプを制作しています。



CREALITY KI MAX FDM

3Dプリンタ
印刷方法：FDM
造形サイズ：300×300×300mm

探究活動において、TinkerCADを使いキャラクターやスタンプなどの創作物のプロトタイプを制作しています。また正十二面体を分割したものなどを制作し、授業での活用も行っています。

整備している機器について



DJI Air3Fly moreコンボ

空撮用ドローン
動画・静止画対応
専用リモコンによる操作
飛行可能時間：約30分

文化祭・体育祭などの行事での撮影や地域探究において様々な視点での発見に活用しています。



MetaQuest3

VRゴーグル

データサイエンス授業において、360カメラとの併用活用や視線計測、ARによる表現手法に活用しています。



GALLERIA RM5C-R35

ミドルスペックPC・23型モニター
OS:Windows11Home
CPU: IntelCorei5-14400F
メモリ: 16GB
SSD: 500GB
※31台 (内1台は教員用)

主にデータサイエンス授業での高速処理や映像編集・写真加工などに活用しています。またモニターは生徒が所有しているタブレットから外部出力ができる為、大きな画面での操作が可能となっています。